

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

				No. 28-014			
PDCA	事務事業名	空の科学館・体育館管理運営事業	部課等名	教育部 生涯学習課 生涯学習担当	担当 内線等		
					吉澤 23-7341		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第6章 自立した地域経営のまち 節： 第1節 行財政運営とサービスの向上 基本施策： 1. 行政運営 単位施策： (2) 市民サービスの向上 個別施策： ②公共施設でのサービスの向上					
	根拠法令等	半田空の科学館条例、半田空の科学館条例施行規則					
	対象・目的	空の科学館は、一般市民が星や宇宙などの科学に興味を持ち、子どもたちの科学に対する学習意欲が高まるような魅力ある拠点施設として、また、体育館は、一般市民が楽しく、安全にスポーツやレクリエーション活動ができる拠点施設として適切に管理運営を行う					
	目的を達成するための手段・活動内容	プラネタリウム投影、観望会、イベント、各種教室、企画展等星や宇宙への興味や学習意欲を高める魅力ある事業を開催する。 スポーツ施設として、安全で快適に利用できるよう体育館の適正な管理運営に努める。					
	D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位
①科学館利用者数			24,567	27,965	29,704	人	
②							
③							
事業費			65,135	71,504	71,834	千円	
人件費			1,269	1,249	621	千円	
総事業費			66,404	72,753	72,455	千円	
活動単位当たりのコスト			29年度	30年度	元年度	単位	
①来館者一人当たりの事業コスト		2,703	2,602	2,440	円		
②							
③							
成 果		成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①施設利用の満足度が「大変良かった」以上の割合	実績値	73.0	70.0	—	%
			目標値	80.0	80.0	80.0	
			実績値				
	目標値						
	実績値						
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある
	事業の評価・課題	C					
		特別展示ではプラネタリウム番組と連動した企画や見て楽しめる展示を開催、その他に子どもの工作教室やプログラミング体験教室講座を行い、子どもたちに学ぶ機会を提供した。プラネタリウムでは学習投影、大人向け・子ども向けの投影、幅広い年齢層に対する利用者の拡大を図った。特別企画「ごん」の体験型ワークショップを行い、半田市のまちづくりに貢献した。結果として利用者の増加につながった。 毎年度3月に施設利用の満足度調査としてアンケートを行っているが、令和2年3月4日から休館となったため、成果の実績値が取れていない。しかし、各イベントでの満足度が「大変よかった」以上の割合は66.4%であった。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		指定管理者制度のメリットを活かし、サービス向上と効率的運営に向け事業者と調整する。また、施設の設置目的に合った事業を実施できるよう協議を重ねる中で、来館者アンケート等により利用者のニーズを把握するとともに、市民が興味を持つイベントを企画する。さらに、新規来館者を得るために新たな事業も積極的に開催していく。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値		単位		
		①施設利用の満足度が「大変良かった」以上の割合	80		%		